

報告書

シンポジウム ～クルマ社会を考える～ 「真に必要な道路」を問う

開催日時： 2009年3月18日（水）18時から20時30分まで

主催： 第二東京弁護士会 環境保全委員会

場所： 弁護士会館3階会議室

パネリスト： 菅 直人（衆議院議員、民主党代表代行）

寺西俊一（一橋大学大学院経済学研究科教授）

中島 敏（弁護士、第二東京弁護士会会員）

馬淵澄夫（衆議院議員、民主政策調査副会長）

山本有二（衆議院議員、自由民主党道路調査会長）

パネル司会： 石黒 徹（弁護士、第二東京弁護士会会員）

* 敬称略、50音順、肩書はシンポジウム開催当時のものです。

目 次

<シンポジウム内容>

1. 開会挨拶

第二東京弁護士会 会長 庭山正一郎

2. パネルディスカッション

A. パネルディスカッション概要説明

B. 各パネリスト冒頭表明

C. パネルディスカッション各論

(1) 「道路の将来交通需要推計の考え方」について

(2) コンパクトシティー化の推進と「真に必要な道路」

(3) 費用分析マニュアル及び「道路事業の評価手法の見直し」について

(4) 誘発交通

(5) 一般財源化の意味

(6) 自動車関係諸税

D. 各パネリストからのクロージングコメント

3. 質疑応答

4. 閉会挨拶

環境保全委員会 委員長 朝倉淳也

<資料>

<アンケート結果>